

# ペットボトルを利用した「ハチ捕り器」の作り方と注意事項

身近な材料による簡単な「ハチ捕り器」の作り方を紹介します。

## 1 準備する材料および道具

### (1) ハチ捕り器本体

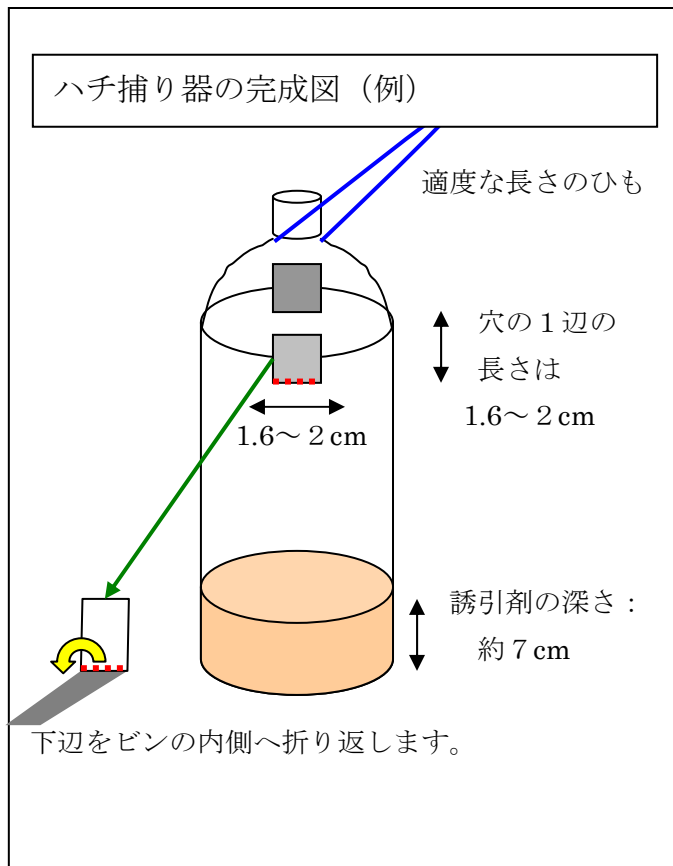
- ①ペットボトル（大きさは1～1.5リットルで、形はなめらかな円筒状のもの）
- ②カッターナイフ
- ③ひも（ビニル製等 長さは設置箇所に合わせること）



### (2) 誘引剤（ハチをおびき寄せる匂いの元。以下、1.5リットル分の量）

- ①砂糖（100g）
- ②酒（日本酒を220mL）
- ③酢（70mL）

## 2 作り方

### (1) ハチ捕り器本体



- ①カッターナイフを使い、入口となる  の左、右及び上辺の3箇所を切り、下辺  をビンの内側へ直角に折り曲げます。  
(ビンの反対側も同じにします)
- ②キャップ首に、ひもを結びつけます。  
ひもの長さは、ハチ捕り器の設置箇所に合わせて変えるので、初めは余裕をもたせておきます。

## (2) 誘引剤

1 で準備した砂糖、酒、酢を大きめの容器の中で混ぜあわせませす。

砂糖が十分溶けて、液が透明になれば大丈夫。

※この中に、少し傷みかけたブドウを1粒いれると発酵が進み、効果が増します。

(3) できあがった誘引剤を、ハチ捕り器本体に注ぎ込みます。

(4) ハチ捕り器本体を木陰等にひもでつるします。

※取り付け位置は下記を参照してください。

## 3 ハチ捕り器の管理方法

ハチ捕り器は、その原理上、誘引剤の匂いに引かれたハチが集まってきます。

一度に捕殺できるハチの数も多くありません。餌を捜しにたまたま立ち寄ったハチを駆除対象としています。

従いまして、使用にあたって、以下のことに十分注意してください。

### (1) 取り付け場所はよく選んでください。

①ハチの巣の5m以内では、使用・設置をしないでください。ハチが集まりすぎて、危険な場合があります。

②普段から人が通行・作業する場所を避け、そういった場所から3メートル以上離して設置してください。

③子どもがイタズラできないような高さ(2m以上)に設置してください。

④直射日光の当たらない場所(木陰等)に設置してください。

### (2) 誘引剤の補給や交換

①ハチが行動する日中を避け、「夜から明け方」の時間帯に、付近をハチが飛び回っていないことを確認したうえで行ってください。

②誘引剤が蒸発して残り4~5cm以下になったとき、もしくは、スズメバチや他の昆虫でペットボトル内が満たされ、液面が見えなくなったときには、誘引剤の交換あるいは補給を行ってください。

## 4 注意事項

①自宅等の近くに、巨大なハチの巣を見つけ、多数のハチが飛び回っているようでしたら、ハチ捕り器による安全な使用限界を超えています。早急に専門駆除業者に依頼して対処してください。

②人の生活に支障のない場所に巣がある場合には、そっとしておきましょう。

スズメバチは、植物等にとっての害虫を食べる「益虫」でもあるからです。

どのように優れた道具であっても、使用法を誤れば事故につながることをお忘れなく！

—お問合せ—

保健福祉部 保健所生活衛生課

TEL 024-924-2157

FAX 024-934-2860